

2022年度6月期ハイキング「小川町」の報告

実施担当：福祉環境科

2022年6月3日(金)、埼玉県比企郡小川町(仙元山見晴らし公園など)を散策しました。

新型コロナウイルスもようやく落ち着きを見せ全国的に行動規制も解除され、人の動きも活発になってきた昨今です。

昨日は熊谷でも雹交じりの激しい雨が降り、本日も午後から激しい雨予報となっており、予定コースをショートカットして早めに切り上げることにしました。「小川町コース」は2017年以来、悪天候、新型コロナウイルス影響等で3回中止になり本日4回目です。ようやく実現しました。

9時30分小川町駅前に集合し、ミーティング後9時40分に参加者11名でスタートしました。



朝のミーティング



9時40分小川町駅を出発



「女郎うなぎ福助」店

見るからに渋くて粋な建物

創業は安政二年ということで今から167年前になりますが、建物自体は昭和初期と大正時代の二つの建物が合体しているとのこと。

「女郎うなぎ」の由来

この店の先代である田中善兵衛さんの親友がお伊勢参りの帰りに、旅の思い出にと江戸の吉原へ立ち寄り、その時に相手をした花魁があまりにも気品高く美しいのでたちまち虜になってしまい、大枚を投じて見受けをして小川町に連れて帰ったものの、その人は結婚して奥さんがいたんですって。自分の家には置けないとのこと、善兵衛さんに預けたそうです。

善兵衛さんは早速我が家に引き取り、救いの手を差し伸べ彼女も又、その喜びにこたえて家業の手伝いをこなしました。そして歳月が経ち、彼女も歳を取って病床に伏していたとき、善兵衛さんを枕元に招いて終生の恩返しにと、彼女の生家に伝わる、ウナギのかば焼きの秘伝極意を教え、これにまつわる悲願を叶えていただきたいと残して亡くなりました。そして、その花魁が伝えた鰻料理ということで「女郎うなぎ」と称し、心機一転家業を改め、現在の当主にまで伝わっているとのこと。



9時50分円城寺に到着

右写真は本堂に収められている嘉歴3年(1327年)作の薬師図像石板塔婆(実物は見られませんでした)



薬師図像石板塔婆(ネット上から引用)



仙元山登山を前にあずま
やで小休憩



歳にも負けず皆さん急坂をにこやかに登って行きました



11時、仙元山みはらしの丘公園に到着し、
展望台からの眺望を楽しみました



展望台から小川町を望む



仙元山みはらしの丘公園で早めの昼食



下りは昨日の雨で滑りやすくなっていた登山道を慎重に下りる



12時15分カタクリとオオムラサキの林展示館に到着



展示館の隣にはオオムラサキの幼虫が飼育されていました。エノキの枝をネットで覆い幼虫を保護していました



オオムラサキの幼虫



展示館前で記念撮影



12時40分西光寺に到着

室町後期の創建といわれる西光寺の鐘楼門
西光寺は桜とカタクリの名所。春に訪れて
見てください



13時10分最後の目的地「埼玉伝統工芸会館／道の駅おがわまち」に到着しました。

埼玉伝統工芸会館の企画展会場では「鶴田一郎 美人画展～美と幻想のミューズたち～」が開催されており、
ゆっくり鑑賞できました

14時20分、小川町駅まで歩く予定でしたがここで解散し、バスあるいは徒歩で小川町駅に向かっていきました。

大雨予報の中、予定コースをシートカットして早めに切り上げて来ましたが、雨にも降られず思いもよらないハイキング日和となり、初夏の小川町を堪能できた事と思います。急な上り坂もあった約5kmの工程でしたがお疲れ様でした。

(電車で寄居駅に向かっている途中で、一時激しい雨に会いましたが寄居駅に着くころには小降りとなり難を逃れました)

次回(7月1日)は「桐生(近代化遺産の町)街歩き」です。実施担当のふるさと伝承科の皆さんよろしくお祈いします。

記：笹沢